

長野県新総合交通ビジョン



長野県

今、長野県の交通は大きな転換点を迎えようとしています。

人口減少社会が到来する中であって、県内の公共交通は極めて深刻な状況におかれています。県民の皆様が、将来にわたって住み慣れた地域で安心して暮らして行くためには、日常生活において欠くことのできない鉄道やバスなど地域の移動手段をしっかりと確保して行くことが、何よりも大切になります。

その一方で、北陸新幹線が2年後には金沢まで、さらには敦賀まで延伸し、将来的には大阪とも結ばれることとなります。そして15年後には、陸上交通で世界最速となるリニア中央新幹線の開業が予定されています。また、中部横断自動車道、中部縦貫自動車道、三遠南信自動車道などの道路網整備も着実に進んでおり、こうした高速交通ネットワークの拡充は、長野県の将来に大きな可能性をもたらすものであります。

私は、長野県内全ての地域において、高速交通ネットワークの整備による効果を実感できるようにしなければならないと考えます。そのためには、県内各地を円滑に行き来することができる交通環境を確保することと併せ、本州中央部に位置する本県を中心として、県境を越えた人や物の大きな流動を創り出すことが重要になるものと考えます。

今後は、この交通ビジョンが掲げる、県民の皆様の日常生活をしっかりと支え、県内を快適につなぎ、全国各地や海外へと広がる交通の実現に向けて、県民の皆様、交通事業者をはじめとした関係者、行政機関等が一体となって、着実に歩みを進めてまいりたいと考えますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



平成25年3月

長野県知事 **阿部守一**



天龍峡沿いを走る飯田線

提供：信州・長野県観光協会

長野県新総合交通ビジョンの策定について	1
策定の背景	
性格と役割	
目標年次	
第1 長野県の交通の現状と将来への視点	2
1 交通ネットワークの構築	3
2 公共交通の維持・確保	6
3 安全・安心な交通の確保	10
4 環境に配慮した交通の確保	11
5 観光客の円滑な移動	12
6 物流の発展と産業を支える交通	14
第2 長野県が目指す交通の将来像	16
将来像1 長寿社会の確かな暮らしを支える地域交通の確保	16
～安全・安心で持続可能な交通サービスを実現します～	
将来像2 交流の結節点“信州”を快適につなぐ移動環境の形成	19
～県内各地を円滑に移動できる交通ネットワークを実現します～	
将来像3 東日本と西日本、太平洋と日本海を結び海外へと 広がる「本州中央部広域交流圏（仮称）」の構築	21
～高速交通網を最大限に活かした交流の拡大を実現します～	
第3 将来像の実現に向けて	24
将来像1 長寿社会の確かな暮らしを支える地域交通の確保	24
施策の方向1 地域を支える快適で持続可能な交通サービスの実現	
施策の方向2 広域生活圏を支える交通ネットワークの構築	
施策の方向3 環境と調和した安全・安心な交通体系の構築	
施策の方向4 地域の生活を支える道路の整備	
将来像2 交流の結節点 “信州”を快適につなぐ移動環境の形成	30
施策の方向1 県内各都市をつなぐ公共交通ネットワークの強化	
施策の方向2 観光地の魅力を活かす交通ネットワークの構築	
施策の方向3 産業と物流を支える交通ネットワークの充実	
施策の方向4 県内各地をつなぐ道路ネットワークの強化	
将来像3 東日本と西日本、太平洋と日本海を結び海外へと 広がる「本州中央部広域交流圏（仮称）」の構築	35
施策の方向1 リニア中央新幹線を基軸とした交通ネットワークの構築	
施策の方向2 北陸新幹線の延伸を活かす交通ネットワークの強化	
施策の方向3 信州まつもとと空港の機能強化	
施策の方向4 規格の高い道路ネットワーク等の強化	
施策の方向5 「本州中央部広域交流圏（仮称）」の実現	
これからの取組について	48
多様な主体による協働と役割分担	
国への提案	
参考資料	51
交通に係る県民等意識調査（アンケート）結果の概要	53
長野県新総合交通ビジョン検討委員会名簿	67
長野県新総合交通ビジョン検討委員会の経過	68
用語解説	69